

# 平成24年度公益財団法人よこはまユース事業計画

## I 平成24年度 基本方針

### (背景)

青少年を取り巻く環境が厳しさを増すなか、青少年が成長過程で遭遇する様々な困難や課題に向き合える力や、潜在的なリスク、社会構造的ひずみに対する耐性力の育成、及び困難な状況を抱えた場合の立直りを支援するセーフティーネットがより重要になっています。

当法人は、横浜市の青少年施策における重要課題を法人の重要課題と位置づけ、次の目標のもと経営に取り組めます。

### (目標)

- 1 すべての青少年が周囲の人々から見守られ、人のつながりのなかで成長していくことができる社会を醸成するとともに、潜在的なリスクを抱える青少年を支えるセーフティーネットとしての機能を地域に確立します。
- 2 様々な体験を通じ青少年が自ら学び育つ機会を提供することによって、未来を担う青少年の成長に貢献します。
- 3 不登校やひきこもり状態にある青少年や若年無業者を対象とする「自立支援」に取り組めます。
- 4 すべての子ども、若者の潜在的リスク予防とリスクの解消・軽減に取り組む、耐性力を育成します。
- 5 法人としての経営・組織基盤を強化します。

### (重要課題への取組・施策の方向性)

- 1 新たな「健全育成」(潜在的リスク予防)と地域のセーフティーネットづくり
- 2 困難を抱える子ども・若者への自立支援

### (施策の柱と事業)

#### 施策1：青少年を見守る地域づくりと人材育成

##### (1) 知っておきたい！子ども・若者どこでも講座

子ども・若者を取り巻く課題(携帯・ネット・性非行・深夜はいかい等)を周知し、その解決に向けた取組みを促すため、地域で開催される講座に有識者を講師として派遣します。

また、地域が抱える課題を集約し、地域や団体の啓発活動の推進を図ります。

##### (2) 地域カステップアップ(地域に出向いた研修と地域活動プランニング)事業

地域・企業など幅広い対象からの相談に応じ、研修や地域活動のプランニングやコーディネート、講師派遣などの支援によって地域事業を充実すると共に、青少年育成への理解を深め、青少年問題に対応する地域力を育てます。

### **(3) 青少年の地域活動拠点の推進・支援事業**

青少年の地域活動拠点の運営法人に居場所づくりのノウハウを提供するとともに、利用者向上に向けたPR活動を行い、市内青少年の少年地域活動拠点の運営を支援します。

### **(4) 地域で青少年を支える人材の育成**

青少年の課題が複雑になるにつれ、“支援”が機能別・個別化（ひきこもり・就労・発達上の課題等）されていく傾向が懸念されるなか、地域における青少年との日常的な関わりを通し、包括的に青少年を支え、かつ、潜在的課題に早期に気づき必要な支援機関へとつなぐことができる地域人材の育成を目的とした研修・講座を実施します。

## **施策2：体験機会の提供**

### **(1) 野島アドベンチャープログラムの開発**

野島青少年研修センター及び周辺の自然環境を活用し、グループでアドベンチャー（冒険）に挑戦し問題解決能力や思考能力、想像力を発揮する体験を通じて、仲間や自分自身と向き合い成長しているプログラムを開発・実施します。

### **(2) 自然・社会体験活動プログラムの開発及び体験機会の提供**

青少年のコミュニケーション能力向上と人間性・社会性の形成を図るため、自然環境や社会資源を活用した体験活動プログラムを開発・実施します。

### **(3) 放課後キッズクラブ事業**

横浜市と連携を図りながら、「子どもたちの放課後懇話会」の提言を踏まえ、すべての子ども達を視野にいれ、「遊びの場」と「生活の場」を兼ね備えた安全で快適な放課後の居場所づくりを推進します。

## **施策3：自立支援及び青少年の潜在的リスク解消・軽減と耐性力育成**

### **(1) 早期支援SST（ソーシャル・スキルズ・トレーニング）プログラム事業**

保健室登校、不登校、ひきこもりの早期段階にある中・高校生を対象に、合宿やグループワークの手法による集団生活や社会適応トレーニングを開発・実施します。

この事業を通じて、青少年を支援する人材育成、青少年支援機関・団体学校等とのネットワークの充実を図り、困難を抱える青少年の早期発見・早期支援の仕組みづくりに活かします。

また、事業の検証結果をもとに新しい健全育成事業の開発・構築に結び付けます。

### **(2) 学習マイプラン事業（学習支援事業）**

学校の教育課程からふり落とされることがないように、生活困窮家庭の子ども（小中学生）を対象に、毎週定期的に学習を支援し学習意欲を高め、将来に対する意欲を涵養します。

また、交流センターを実施場所とすることで、学習支援の他、自分の興味を具現化する過程に寄り添う大人や青年等に出逢う機会も提供します。

### **(3) 子ども・若者エンパワーメントセミナー事業**

思春期の子をもつ親や自立支援に関心をもつ市民が、子どもたちが抱えている悩みや課題について正しい知識を持ち、適切に子どもたちと向き合い成長を見守ることができるよう、子ども・若者へのエンパワーメントをキーワードにセミナーを実施します。

#### 施策4：拠点施設事業

- (1) 青少年育成センター、青少年交流センター及び野島青少年研修センターの指定管理業務の遂行  
青少年活動を推進・展開する安全で効果的な場として、青少年育成センター（青少年の指導者・育成者の活動拠点）、青少年交流センター（青少年の主体的な活動拠点）、野島青少年研修センター（青少年の集団宿泊体験活動拠点）の青少年3施設を、すべての市民に提供します。
- (2) 宿泊型の自立訓練プログラムを提供できる施設として、野島青少年研修センターの機能強化  
若者自立支援に有効活用できるよう、就労体験、社会体験、地域や人との関わりを意識できるプログラムの開発と併せて、小グループでの生活訓練プログラムが実施しやすくなるよう、厨房設備やパブリックスペースをはじめとする施設のハード面の機能強化を図ります。

#### 施策5：経営・組織基盤強化

- (1) 青少年育成センター及び青少年交流センターの次期指定管理者の指定確保  
平成24年度は、青少年育成センター及び青少年交流センターの2年間の指定管理期間が満了になる年度です。横浜市が平成25年度以降も施設を継続設置する場合は、両施設の次期指定管理者の指定確保に努めます。
- (2) 「新青少年交流センター」（仮称）管理運営の受託確保  
平成23年度に、横浜市子ども・若者支援協議会から意見提案された、困難を有する若者や子どもたちの育成・支援のための包括的な支援の仕組みに位置づけられている「新青少年交流センター」について、横浜市が施設設置方針を確定した場合は、その受託確保に努めます。
- (3) 寄附金募集と法人イメージ定着促進事業  
寄附金の運用果実を財源とする事業を明確化するとともに、事業指定型寄附金制度を創設し、寄附者への事業協力成果を分かりやすく情報提供することで寄附金協力者の満足度向上を図ります。  
また、公益財団法人移行に伴い会員制度と基金制度を統合した現在の寄附金制度を、賛助会員制度と寄附金制度に再度分割することを検討します。
- 【指定事業】  
早期支援SSTプログラム事業／野島クリスマスキャンプ事業／ハートフルスペース連携事業
- (4) 企業CSR・関係団体との協働事業の推進  
企業のCSRや関係団体との協働事業の実施を推進します。
- (5) 事業評価システムの導入  
事業評価システムを本格的に導入し、全事業の見直し・改善に活用します。
- (6) 職員体制の充実と人材育成  
厳しい財政状況のなか、当法人の使命を実現して行くために、組織としての使命と方針の明確化を図り、目標の実現に向けた、専門性、マネジメント能力等を備えた人材育成に取り組めます。

## Ⅱ 平成24年度 事業概要

### （事業の柱と公益目的事業区分）

当法人の目的『すべての青少年が周囲の人々から見守られ、人のつながりのなかで成長していくことができる社会を醸成するとともに、様々な体験を通じ青少年自らが学び育つ機会を提供することにより、未来を担う青少年の成長に寄与する』を具現化する事業の柱と事業区分は次の通りです。

#### 【事業の柱】

- A：青少年活動を支援する事業
- B：青少年を支える人材を育成する事業
- C：青少年に体験機会や活動の場を提供する事業
- D：その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

#### 【公益目的事業区分】

- あ：施設の貸与
- い：講座、セミナー、育成
- う：体験活動等
- え：相談助言
- お：調査、資料収集

### A：青少年活動を支援する事業

#### あ：施設の貸与

この事業は、青少年育成活動を展開するための安全で効果的な場を提供することで、青少年の育成に寄与することを目的としています。

横浜市内で行われている多様な青少年対象事業を企画、実施するための指導者・育成者による打合せ準備、実際の活動の場として施設を提供します。また、学校や普段の生活では体験しにくい青少年が主体的に関わることができる体験活動や集団宿泊体験等の場として利用してもらうため、できる限り利用に関する制限を設けず施設を提供できるよう、活動相談や情報提供による支援を行います。

なお、施設の特徴や利用案内に関しては、施設パンフレットやホームページに情報を掲載し幅広く周知します。

#### 【主な事業・取組】

- 青少年の指導者・育成者の活動拠点 横浜市青少年育成センターの諸室及び物品貸出
- 青少年の主体的な活動拠点 横浜市青少年交流センターの諸室及び物品貸出
- 青少年の集団宿泊体験活動拠点 横浜市野島青少研修センターの諸室及び物品貸出

#### え：相談助言

この事業は、青少年と大人がともに育つ環境を醸成することで、青少年の育成に寄与することを目的としています。

横浜市内で行われている体験活動をはじめとする多様な事業に青少年が関わることにより、自らが学び育つ機会を幅広く提供するために、青少年に対する相談・助言、情報提供、コーディネート、研修講師の派遣・紹介、研修や地域活動のプランニング等、多様な支援を行います。

#### 【主な事業・取組】

- 知っておきたい！子ども・若者どこでも講座
- 青少年の地域活動拠点の推進・支援事業
- 地域カステップアップ事業（相談、助言、活動プランニング等）
- 青少年育成に関する相談、情報の収集と提供
- よこはまの青少年の体験活動に関する懇話会
- 青少年に対する活動相談・ロビーワークによる日常的な相談、助言

### B：青少年を支える人材を育成する事業

#### い：講座、セミナー、育成

この事業は、青少年を支える人材や活動の核となる青少年を養成することで、青少年と大人がともに育つ環境を醸成し、青少年の育成に寄与することを目的としています。

青少年及び青少年育成に関する知識や技能を習得することで、青少年育成への理解を深め青少年育成活動の普及を推進し、青少年が自ら学び育つことができる機会の充実や自立支援に関わる人材を育成します。

具体的には、社会的な課題をはじめ青少年育成活動の実践から得た課題を基に、テーマを定め必要に応じ専門機関・団体等と連携し講座・研修を実施します。

#### 【主な事業・取組】

- 子ども・若者エンパワーメントセミナー
- 地域で青少年を支える人材の育成研修・講座
- 潜在的なリスクを抱える層へのアプローチ
- 青少年をめぐる現在の課題への市民啓発講座
- 「青少年の居場所づくり」全国フォーラム

### C：青少年に体験機会や活動の場を提供する事業

#### う：体験活動等

この事業は、青少年が学校や家庭では体験しにくい多様な体験活動に参加することで、青少年の育成に寄与することを目的としています。

青少年が体験を通じ自ら感じ考えることで学び育つことができる機会として、就労体験、社会体験、自然体験、集団宿泊体験等の事業を企画・実施します。

具体的には、お互いに協力して目標を達成していく過程で青少年が社会性や協調性を育み自ら成長していくことができるよう、集団や個人の特性に応じて活動領域や手法を変え、すべての青少年を対象とした体験活動を実施するとともに、青少年事業の研究・調査・開発を行います。

併せて、小学生に放課後の安全な遊び場と集団活動の場を提供することにより、青少年の育成に寄与することを目的として、放課後キッズクラブを運営し、小学生が集団での遊びや体験活動を通じ、自ら学び育つことができる機会を、小学校に在籍するすべての児童を対象に提供します。

#### 【主な事業・取組】

- 自然・社会体験活動プログラムの開発及び体験機会の提供
- 学習マイプラン（学習支援）
- 早期支援 S S T（ソーシャル・スキルズ・トレーニング）プログラム事業

- 野島アドベンチャープログラム
- 高校生水源林ボランティア
- 野島クリスマスキャンプ事業
- ハートフルスペース連携事業
- 青少年交流センター・野島青少年研修センターが企画実施する多様な体験事業
- 放課後キッズクラブの運営

#### お：調査、資料収集

この事業は、青少年活動に活用できる体験活動を中心とした活動資源の調査や事業効果を検証し、青少年活動プログラム開発のための基礎資料としての活用や団体及び教育機関に提供することで、青少年の育成に寄与することを目的としています。

横浜市内で行われているNPOや企業のCSR（社会貢献）活動等と青少年育成活動や学校の体験学習等が連携することで、青少年が自ら学び育つことができる活動領域の拡大や活動機会を充実するため、市内の活動の調査、新規事業の開発を行います。

#### 【主な事業・取組】

- 早期支援SST（ソーシャル・スキルズ・トレーニング）プログラムの開発
- 野島アドベンチャープログラムの開発
- 相談、助言、活動コーディネートに活用

#### D：その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

Dの項目は、収益事業及び法人運営のための取組です。

##### 1 寄附金募集事業

この事業は、当法人の取組を広く市民に周知し理解を深め協力を得ることを目的として、収益事業の実施、募金箱の設置、寄附金の継続協力者の拡充のための事業を行います。

#### 【主な事業・取組】

- 爆笑！濱っ子寄席の開催／募金箱の設置／寄附金継続協力者の拡充
- 賛助会員制度の検討

##### 2 事務局運営

公益財団法人としての使命を果たすとともに、安定して継続的に運営できるよう、職員の育成、ガバナンスの強化を更に推進します。

#### 【主な事業・取組】

- 評議員会、理事会の運営／職員の研修／事業評価システム導入／情報受発信の充実（ホームページ充実等）

## 平成24年度 公益財団法人よこはまユース 事業体系表

施設・課	事業の柱	公益目的	事業名	
事業課	A: 青少年活動を支援する事業	え: 相談、助言	1 知っておきたい！ 子ども・若者どこでも講座【新規】	
			2 青少年の地域活動拠点の推進・支援事業	
			3 地域カステップアップ事業(相談、助言、活動プランニング)【新規】	
			4 ユースサポーター事業【新規】	
	B: 青少年を支える人材を育成する事業	い: 講座、セミナー、育成	5 子ども・若者エンパワメントセミナー【新規】	
			6 学習マイプラン(交流センター連携事業)【新規】	
	C: 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	う: 体験活動等	7 自然・社会体験プログラム	
			8 青少年サイエンスプログラム(市立横浜サイエンスフロンティア高校協働事業)	
			9 高校生水源林ボランティア(市水道局協働事業)	
			10 野島アドベンチャープログラム(研修センター連携事業)【新規】	
			11 早期支援SST(ソーシャル・スキルズ・トレーニング)プログラム【新規】	
			12 放課後キッズクラブ運営(19か所)	
			お: 調査、資料収集	13 活動資源の調査
				14 自然・社会体験プログラムの開発
				15 野島アドベンチャープログラム開発(研修センター連携事業)【新規】
				16 早期支援SST(ソーシャル・スキルズ・トレーニング)プログラム開発【新規】
	D: その他法人目的達成のための事業	/	17 法人ホームページの改良・管理	
			18 第52回 爆笑！濱っ子寄席	
青少年育成センター	A: 青少年活動を支援する事業	あ: 施設の貸与	1 諸室及び物品の貸出	
			2 利用促進事業	
		え: 相談、助言	3 青少年育成に関する相談、情報の収集と提供	
			4 よこはまの青少年の体験活動に関する懇話会	
	B: 青少年を支える人材を育成する事業	い: 講座、セミナー、育成	5 青少年に関わる包括的人材の育成を目的とした研修・講座	
			6 潜在的なリスクを抱える層へのアプローチ	
			7 青少年をめぐる現在の課題への市民啓発	
青少年交流センター	A: 青少年活動を支援する事業	あ: 施設の貸与	1 諸室及び物品の貸出	
			え: 相談、助言	2 青少年に対する活動相談・ロビーワークによる日常的な相談、助言
				3 「青少年の地域活動拠点連絡会」の運営
	B: 青少年を支える人材を育成する事業	い: 講座、セミナー、育成	4 夏期青年ボランティア	
			5 「青少年の居場所づくり」全国フォーラム	
			6 社会教育実習生受け入れ	
			7 青少年委員会の運営	
	C: 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	う: 体験活動等	8 青少年委員企画事業	
			9 活動成果交流事業	
			10 地域交流事業	
			11 体験交流事業	
野島青少年研修センター	A: 青少年活動を支援する事業	あ: 施設の貸与	1 施設・設備貸出事業	
			2 インターネットによる情報提供	
	C: 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	う: 体験活動等	3 市民活動団体との協働体験プログラム「野島の自然と遊ぼう！」	
			4 野島クラフトワークショップ	
			5 食育プログラム(野島カリー)	
			6 野島クリスマスキャンプ2012【青少年の育ち支援事業】(本部連携事業)	
			7 施設ボランティアの養成(青年ボランティアの養成)	
			8 ハートフルスペース連携事業【早期段階課題対応事業】(本部連携事業)	
			9 研修センターの施設点検を活用した就労体験(自立支援)	
			10 野島アドベンチャープログラム開発(事業課連携事業)【新規】	
			11 新規体験プログラムの開発	
総務課	D: その他法人目的達成のための事業	/	1 寄付金協力者の拡充と事業指定型寄附金制度創設【新規】	
			2 賛助会員制度の検討【新規】	
			3 平成24年度 新春のつどい	

## 平成24年度 公益財団法人よこはまユース 事業計画一覧

### 事業課(1/3)

事業の柱	公益目的区分	事業名	内容	実施時期 /回数他
A 青少年活動を 支援する事業	え 相談、助言	知っておきたい！ 子ども・若者どこでも 講座	子ども・若者を取り巻く課題（携帯・ネット・性 非行・深夜はいかい等）を周知し、その解決に向 けた取組みを促すため、地域で開催される講座に 有識者を講師として派遣します。 また、地域が抱える課題を集約し、地域や団体の 啓発活動の推進を図ります。	7月～3月 30回
		青少年の地域活動拠 点の推進・支援事業	青少年の地域活動拠点の運営法人に居場所づく りのノウハウを提供するとともに、利用者向上に 向けたPR活動を行い、市内青少年の少年地域活 動拠点の運営を支援します。	通年 3カ所
		地域カステップアッ プ事業（相談、助言、 活動プランニング）	地域・企業等など幅広い対象からの相談に応じ、 研修や地域活動のプランニングやコーディネー ト、講師派遣などの支援によって地域事業を充実 すると共に、青少年育成への理解を深め、青少年 問題に対応する地域力を育てます。	通年
		ユースサポーター事業	活動希望者のスキルを認定し、活動希望者と活動 のマッチングに活用するため、認定委員会を設置 し認定基準を作成し運用します。	4月～8月 認定基準作成 9月～3月 運用
B 青少年を支え る人材を育成 する事業	い 講座、セミナー、 育成	子ども・若者エンパ ワーメントセミナー	思春期の子をもつ親や自立支援に関心をもつ市 民が、子どもたちが抱えている悩みや課題につい て正しい知識を持ち、適切に子どもたちと向き合 い成長を見守ることができるよう、子ども・若者 へのエンパワーメントをキーワードにセミナー を実施します。	1月 1回
C 青少年に体 験機会や活 動の場を提 供する事業	う 体験活動等	学習マイプラン	学校の教育課程からふり落とされることのない よう、生活困窮家庭の子ども（小中学生）を対 象に、毎週定期的に学習を支援し学習意欲を高 め、将来に対する意欲を涵養します。 また、交流センターを実施場所とすることで、学 習支援の他、自分の興味を具現化する過程に寄り 添う大人や青年等に出逢う機会も提供します。	6月～3月 週1回以上
		自然・社会体験プログ ラム	青少年のコミュニケーション能力向上と人間 性・社会性の形成を図るため、自然環境や社会資 源を活用した体験活動プログラムを実施します。	8月～9月 新規3事業
		青少年サイエンス プログラム	横浜サイエンスフロンティア高校と協働で、小中 学生を対象とした科学体験事業を実施します。	年4回
		高校生水源林ボラ ンティア	横浜市水道局と連携し、高校生を対象とした道志 村の水源林保全活動を実施します。	8月 年1回
		早期支援SSTプロ グラム実施	保健室登校、不登校、ひきこもりの早期段階にあ る中・高校生を対象に、合宿やグループワークの 手法による集団生活や社会適応トレーニングを 開発・実施します。	2月 1回
野島アドベンチャー プログラム	野島青少年研修センター及び周辺の自然環境を 活用し、グループで挑戦し問題解決能力や思考能 力、想像力を発揮する体験を通じて、仲間や自分 自身と向き合い成長していけるプログラムを実 施します。	3月 1回		



事業課(2/3)

事業の柱	公益目的区分	事業名	内容	実施時期／回数他
C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	う 体験活動等	放課後キッズクラブ運営	<p>児童の自主性や主体性・創造性、教育、安全管理、人権に配慮しながら、市内17区19か所のキッズクラブを運営します。</p> <p>学校教育では得られない体験プログラム、季節行事にちなんだプログラム、異学年間の交流につながるプログラム、スポーツ、文化活動、食育、環境、国際理解など、児童の可能性を引き出し、達成感の得られるような内容を工夫しながら、様々な分野にわたるプログラムのほか、児童自らが企画・運営する体験プログラム等を実施します。</p> <p>すべての児童を視野に入れ、障害児も受け入れることにより、他の児童も一緒に活動することを通して、障害への理解を深められるよう配慮します。</p>	<p>通年</p> <p>19カ所</p> <p>事業数 5,000回 (19カ所計)</p>
		地域連携 (評議会/保護者会 地域との連携事業)	<p>各キッズクラブにおいて、評議会、保護者会を開催し、学校・地域・保護者への理解と協力を図ります。</p> <p>また、児童の成長や発達力を地域へ還元していけるよう、地域清掃や高齢者施設、保育園等への訪問、地域の行事への参加など、プログラムとして取り組むとともに、キッズクラブ運営に保護者が積極的に協力できる体制づくりに向けて親子体験プログラムを実施し、保護者同士も交友関係を築けるよう配慮します。</p>	<p>評議会 年2回</p> <p>保護者会 年2回以上</p>
		情報共有 (主任・指導員会議)	<p>主任指導員・指導員の情報交換、スキルアップや事務連絡の機会として各会議を実施します。</p> <p>主任会議/指導員会議/合同会議</p>	<p>月1回 以上</p>
		ネットワーク作り (他キッズとの交流・ 地域資源の有効活用)	<p>他キッズクラブとの連携事業の実施や近隣の公共施設などを活用等、校外に出かけ、町を知る機会を提供します。</p> <p>また、様々な趣味や技能を有する地域人材、多くの幅広い年齢層の人々と児童の交流の場を積極的につくります。</p>	<p>随時</p>
		ボランティア受入	<p>法人本部や施設、近隣の大学との連携し、ボランティア活動希望者を受入れます。</p> <p>また、卒業生がボランティアとして運営等に関われる仕組みづくりにも取り組みます。</p>	<p>随時</p>
		人材育成 (スタッフ研修)	<p>キッズクラブ運営において必要な、子どもと向き合い、子どもの育ちをサポートできる力、地域と連携する力のほか、実務研修、執行管理、マネジメント等、多様な分野にわたる講習や実践的・体験的な研修プログラムを主任指導員・指導員対象に実施します。</p> <p>また、キッズクラブのすべてのスタッフを対象に、クラフト研修や障害児専門研修、人権研修を併せて実施します。</p>	<p>随時</p>

事業課(3/3)

事業の柱	公益目的区分	事業名	内容	実施時期 /回数他
C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	お 調査、資料収集	活動資源の調査	青少年活動に活用できる体験活動を中心とした活動資源の調査	9月～3月 50カ所
		自然・社会体験プログラム開発	青少年のコミュニケーション能力向上と人間性・社会性の形成を図るため、自然環境や社会資源を活用した体験活動プログラムを開発します。	11月～2月
		野島アドベンチャープログラム開発	野島青少年研修センター及び周辺の自然環境を活用し、グループで挑戦し問題解決能力や思考能力、想像力を発揮する体験を通じて、仲間や自分自身と向き合い成長していけるプログラムを開発します。	9月～12月
		早期支援SSTプログラム開発	研究プロジェクト実行委員会を設置し、プログラム開発及び検証を実施し検証結果をもとに新しい健全育成事業の開発・構築に活用します。	9月～3月 委員会4回
D その他法人の目的を達成するために必要な事業		法人ホームページの改良・管理	平成23年度にリニューアルしたホームページの安定稼働と内容の充実を図ります。	通年
	収益事業	第52回爆笑！濱っ子寄席	当法人の取組みを広く市民に周知し理解を深め協力を得ることを目的に、収益事業として寄席を実施します。	12月 1回

## 横浜市青少年育成センター

事業の柱	公益目的区分	事業名	内容	実施時期／回数他
A 青少年活動を支援する事業	あ 施設の貸与	諸室及び物品の貸出	青少年団体の事務局機能を支援するため、青少年育成団体や指導者・育成者を対象に、会議・研修室及び物品の貸出、資料や広報印刷物作成のための機材・作業場の貸出や着ぐるみの貸出を行います。	通年
		利用促進事業	育成センターの利用団体に対して青少年の体験活動の機会を提供し、センターの利用・促進を図るため、関内ホールの「オープンデー」に合わせ、青少年向けのイベントを実施します。	11月 1回
	え 相談、助言	青少年育成に関する相談、情報の収集と提供	青少年団体の組織運営を間接的に支援するため、助成金や行政の施策、研修講座情報等を収集し、ホームページや相談窓口で提供します。	通年
		よこはまの青少年の体験活動に関する懇話会	より多くの青少年に体験活動の機会を提供するため、青少年育成団体、NPO、行政のゆるやかな交流、連携を促進します。	年4回
B 青少年を支える人材を育成する事業	い 講座、セミナー、育成	青少年に関わる包括的人材の育成を目的とした研修・講座	地域において、日常的に青少年に関わり、多様な課題に対応できる人材を育成していくために、役割に応じた必要なスキルを身につける体系別研修を実施します。【総合的・階層的・役割別】	9月～2月 3コース
		潜在的なリスクを抱える層へのアプローチ	ネグレクトや非行等の潜在的課題を持つ青少年を早期に発見し、地域の支援機関につなげる人材を養成するため、子ども・若者の現状と課題、その対応について理解する研修・講座を実施します。	9月～2月 3回
		青少年をめぐる現在の課題への市民啓発	青少年育成に関わる人材育成の必要性を喚起するため、青少年育成に関心のある大人を対象に、現代の青少年の課題について発信する機会（シンポジウム）を設け、青少年を支える層を増やします。	9月 1回

## 横浜市青少年交流センター

事業の柱	公益目的区分	事業名	内容	実施時期／回数他
A 青少年活動を支援する事業	あ 施設の貸与	諸室及び物品の貸出	青少年が気軽に集まり、仲間との時間を過ごすことのできる場と、団体に対する活動場所を提供します。また活動団体が安心して研修・会議を運営できるように、施設の使用環境を整えます。	通年
	え 相談、助言	青少年育成に対する活動相談・ロビーワークによる日常的な相談、助言	交流センタースタッフと青少年が日常的な会話等、コミュニケーションをとることで関係性を築き、社会性など青少年の成長を応援します。また、青少年活動に対する相談・コーディネートを行うことで、青少年が自ら考え、成長していけるよう支援するとともに、スタッフとのふれあいを通し、青少年が多様な価値観を身につけられるように支援します。	通年
		「青少年の地域活動拠点連絡会」の運営	市内の青少年の地域活動拠点の事業がより充実し、多くの青少年の成長の支えとなり地域の理解が広がるよう、情報交換をはじめ、各拠点の持つ課題やノウハウの共有を行います。	通年
B 青少年を支える人材を育成する事業	い 講座、セミナー、育成	夏期青年ボランティア	夏休み期間中に青少年がボランティア活動を通じて青少年の協調性や社会性を養成し、自己有用感を養っていきます。	7月～8月
		「青少年の居場所づくり」全国フォーラム	青少年の居場所づくりをテーマにした、全国規模のシンポジウムによる情報提供と分科会での意見交換を行うことで、青少年を支える人材を育成します。	2月
		社会教育実習生受入れ	大学において社会教育主事課程を履修する学生に対し、居場所での実習場所を提供することにより、青少年を支える人材を育成します。	通年
C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	う 体験活動等	青少年委員会の運営	青少年の社会参画を図り、センターの管理・運営に青少年の声を反省させるために委員会を組織し、委員会活動を通して、青少年リーダーを育成します。	通年
		青少年委員企画事業	青少年委員が事業の企画運営に携わることで自主的な活動の場を提供し、参加者と青少年委員の異年齢交流を図り、居場所機能の向上を図ります。	通年
		活動成果交流事業	センターの利用団体が日頃の活動成果を発表する機会を通じて、青少年が青少年同士や大人との異年齢交流を図ることで、相互の思いや価値観を学び、青少年の成長を促します。また、青少年が事業の運営に関わり、自分が必要とされている実感を得ることで、自己肯定感を養います。	通年
		地域交流事業	地域の人々が年齢を越えて、交流する機会を提供し、青少年が異年齢交流を通じて、自主性や主体性、協調性等を養う場を提供します。また地域の人々に、交流センターの取組みを知ってもらう機会をつくるとともに、施設の利用促進を図ります。	通年
		体験交流事業	スポーツや音楽、クラフト、料理などの体験活動の機会を提供することで、青少年相互の交流を図るとともに青少年の自己肯定感を養っていきます。	通年

## 横浜市野島青少年研修センター

事業の柱	公益目的区分	事業名	内容	実施時期／回数他	
A 青少年活動を支援する事業	あ 施設の貸与	施設・設備貸出事業	利用団体等が主体性、自立性を持って円滑に活動できるよう、宿泊室及び研修室、備品を貸出します。また、利用者が安心して安全に利用できるよう、定期的な巡回および、環境衛生管理についても、各関係法令に則り、適切に管理をします。	通年	
		インターネットによる情報提供	施設利用状況、利用抽選会、実施事業などの情報提供を行い、新規利用者の獲得、リピート利用の促進、体験活動への動機づけを図ります。	通年	
C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	う 体験活動等	市民活動団体との協働体験プログラム 「野島の自然と遊ぼう！」	自然体験・環境教育活動を通じて青少年の豊かな心を育みます。 ①海岸清掃 ②バードウォッチング ③カヌー教室	①年4回 ②年1回 ③年22回	
		野島クラフトワークショップ	活動の空き時間や雨天時などに、もの作りの体験機会を提供し、施設での円滑な利用を支援します。また美術系団体と協働して新規メニュー開発をします。	通年	
		食育プログラム (野島カレー)	カレー作りを通して、食に対する興味を持たせ、児童の好奇心を刺激した、集団での調理活動を通じて、協調性を身につけます。	通年	
		野島クリスマスキャンプ 2012	個別支援学級に通う児童生徒の集団生活の機会を提供し、社会性や協調性を育み自ら成長していくことができるようにします。また、青年ボランティアの活動機会を提供します。	12月	
		施設ボランティアの養成(青年ボランティアの養成)	青年が自己有用感を養えるボランティア活動の場を提供します。また、利用者の活動がより充実するよう、利用者の活動補助の役割も担います。	通年	
		ハートフルスペース連携事業	適応指導教室に通う児童生徒への、宿泊体を提供し、体験の中で、社会性や協調性を育み自ら成長して行くことができるようにしていきます。	12月	
		研修センターの施設点検を活用した就労体験(自立支援)	ニート、ひきこもりの若者へ共同生活の場を提供、コミュニケーション能力の向上や就労体験を通じた自立支援を図ります。	年2回	
	お 調査、資料収集	野島アドベンチャープログラム開発	本部との協働事業 ※事業課参照		
		新規体験プログラムの開発	地域資源を活かした、野島ならではの体験プログラムの開発・検証を有識者とともにを行います。	通年	

総務課

事業の柱	公益目的区分	事業名	内容	実施時期 ／回数他
D その他 法人の目的 を達成する ために必要 な事業		寄附金協力者の拡充 と事業指定型寄附金 制度創設	寄附金の運用果実を財源とする事業を明確化するとともに、事業指定型寄附金制度を創設し、寄附者への事業協力成果を分かりやすく情報提供します。	
		賛助会員制度の検討	公益財団法人移行に伴い会員制度と基金制度を統合した現在の寄附金制度を、賛助会員制度と寄附金制度に再度分割することを検討します。	
		平成 24 年度 新春のつどい	日頃の協力を感謝を表すとともに、当法人や青少年育成への更なる理解と交流を図る機会として実施します。	1 月